

様式 2

平成28年度 安曇野市食育推進会議（第2回） 会議概要

- 1 審議会名.....安曇野市食育推進会議（第2回）
- 2 日 時.....平成29年2月9日 午後1時30分から午後3時00分まで
- 3 会 場.....本庁舎 会議室401
- 4 出席者.....本郷会長、堀内副会長、中田委員、曾山委員、豊田委員、上條委員、堀内委員、丸山委員、阿部委員、松尾委員、辻野委員、後藤委員、南沢委員
- 5 市側出席者.....堀内保健医療部長、宮下健康推進課長、高橋センター長、久保田係長、竹澤管理栄養士、小松管理栄養士、芝原歯科衛生士、斎藤管理栄養士、長田管理栄養士
- 6 公開・非公開の別.....公開
- 7 傍聴人.....0人 記者.....0人
- 8 会議概要作成年月日.....平成29年2月20日

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
- (1) 開 会
- (2) 保健医療部長あいさつ
- (3) 会長あいさつ
- (4) 協議事項
- ① 平成28年度食育推進事業進捗状況・平成29年度食育推進事業計画について
- ② その他
- ア 明科中「手作り弁当の日」について
- イ 調理師会「味覚の授業」について
- (5) 閉会
- 2 審議概要
- ① 平成28年度食育推進事業進捗状況・平成29年度食育推進事業計画について
- (会 長) 平成28年度食育推進事業進捗状況・平成29年度食育推進事業計画について事務局より説明をお願いします。
- (事務局) 平成28年度食育推進事業進捗状況・平成29年度食育推進事業計画についての説明
- (会 長) 平成28年度食育推進事業進捗状況・平成29年度食育推進事業計画について、ご質問ご意見等ありましたら、お願いします。
- (委 員) 介護予防教室の平成28年度の進捗状況の中で受診者数、実施数というのは出てきますか。対象数を把握していればお示しいただければありがたい。それから、学校教育課の教育ファームの今回対象になった児童数を資料としてお示しいただければと感じました。
- (会 長) 数字を載せてということですね。
- (事務局) 可能な限り載せていきたいと思えます。
- (委 員) 学校給食の方なんですけども、別組織と協議していただいております。安曇野市の食育推進計画と学校給食の考え方は違ったということですか。学校給食法に基づいて給食を作っているという話。今後は、安曇野市の考え方と共有していけるということになったんですか。それともそれぞれ違うということですか。
- (事務局) 違うということではないんですけど、所属する課によって基にしている法律は違ってきますので、そちらの方が大切にはなります。学校給食も砂糖について、すごく使っているわけではなくて、基準内で使っていると、そして児童が美味しく食べられるように配慮して作っているということなので、残食の問題なんかもありますし、きっとそういうことが耳に入っていけば、考えてくださると思うんですが。
- (委 員) 学校給食の理念というのは、どちら側の理念ですか。
- (事務局) 学校給食です。
- (委 員) 今後こちらに多少影響を与えていく可能性はありますか。それとも理念に基づいてやるので、食育推進会議でやっているのは、あまり聞いてもらえなさそうですか。
- (事務局) 同じ庁内ですので、この会議の前に庁内検討委員会があって、いただいた意見をフィードバックするような形をとります。直ぐにそのすり合わせができるかということとは言えないんですけど、いただいた意見とか、我々の思いだとか、今の現状だとかいうものは、立場は違いますが、伝えていってお互い共有できるところはしていってという形はとりたいと思っております。

- (委員) これニュアンス的にはどうだったんですか。一緒に理念共有していきましょうという和やかな雰囲気だったのか、うちはうちでこれでやっているから余計な口出ししないでくれという雰囲気だったのか。
- (委員) 県の立場からなんですけど、この食育というのは、色んなところが関わっていますよね。学校、保育園、保健衛生、農政、商工とか色んなところで関わっているので、食育というのは皆さんがやっている食育の方針を一本化しようというのではなくて、色んな切り口があるので、それを食という切り口を中心に皆がこれから生きていくために共有できるような内容を一緒にやっていきましょうというものなので、この学校給食だけが食育にまったく基づいてないとかそういうことではなくて、学校給食のてびきもやっぱり健康とか子どもたちの育ちとかそういうことを重視して考えていますので、食育と他の理念が違うものではなくて、皆のいいところをそれぞれ持ち寄って考え合わせていくものと思っていただければいいと思うので。それぞれの立場で農政だったら農政で方針があると思うので、それを全部食育に向けて一本化するというのは難しいと思うんですけども、相反するものではないという風に理解しながら食育を進めている立場です。
- (委員) 方針が違うからこっちに合わせろというものではないことは十分承知しているんですけど、温度感的に一緒に歩み寄っていきましょうという雰囲気だったのか、それともこちらはこちらでやっているからお互いそれぞれやろうねだったのか。
- (事務局) 自分たちの目指すところはまったく同じではないかもしれませんが、それぞれの立場でもってこれはどうだというような提案をしつつ、考えていただくというようなことですので、うちはやっているから口出すとかそこまでのことはないで、いただいた意見とか、我々がまとめているようなデータだとか出していきつつというようなことでやっています。
- (委員) 担当の課で食育を進められているんですけども、ここの食育推進会議の対象というのは何かあるんでしょうか。学校は学校。保育園は保育園。それ以外がここで食育を進めていくという立場なのでしょうか。
- (会長) 生まれた時から高齢に至るまで全てのステージにおけることについてここに書いてあると思います。色んな課でやられていますけども、市の方の部署では、話し合いが行われていると思いますし、その中の代表の方が市の方からここにいられてご説明いただいているという理解でよろしいですか。
- (事務局) この会議では本当に全体の食育のことを検討いただいて、実施するところはそれぞれの部局がありますので、それを持ち帰ってうちの方はそこに繋げるという役割です。
- (会長) ここは、市民の皆さまの会議という位置づけですね。
- (委員) 妊婦歯科健診について、先ほど受診率36%というお話がありました。1年前にも言わせていただいたんですが、昨年の方も全く同一の%でした。今年のお話をさせていただくと、2か月前に来た妊婦さんでした。予定日の3週間前にいらっしゃいました。歯が痛いということで診たら、神経までも虫歯がいつている歯が1本。それ以外にほぼ神経までいつていると思われる位の虫歯が2本。痛いというのでその日は痛みをとり、私としては、もう2回来てくださいとお話をして予約をとったんですけど、結果的にはもう1回しか来られませんでした。3回来ていただいたとしても応急処置しか出来ないんですね。予定日の3週間前ですから。1年前にも同じこと言わせていただいていますけど、他の隣接する市町村に比べて、歯科医の得る報酬を減らしてまでも妊婦さんの負担をゼロにしている。無料にしてこの健診を行っているわけです。母子手帳交付時に受診券をお渡ししていると思いますけども、もうちょっと積極的にPRしていただいて、受診率を上げていただきたい。お願いします。
- (会長) 私の方から1つ。全ての年代に共通した施策ということで、予防対策やら入っているようですが、1回だけですね。高齢期65歳以上で拝見しますと、栄養の偏りや低栄養を抽出しと記載されていますが、食のことがほとんど何も書いてなくて、口腔関係とか、歯科関係のことがほとんどを占めてると、そこも非常に重要なんですけども。やはり低栄養を防いで、しっかりした食を摂るということが、高齢者ではまず第一に必要なことじゃないかと思っておりますので、そういった記載をしていくことが必要じゃないか。それに対する、フレイル予防教室をもう少し、これから皆高齢になっていくので、どういう対応したらいいのか、医療機関に来るようになりますので、そこが抜けているような気がする。それに今日お持ちした資料ですが、松川村で3年度にわたってやっています。今年度は栄養障害について血液検査をしました。低アルブミンは3.9g/dl。本当は3.5g/dl位にしないといけないんですけども。全部で29～89歳までで平均65歳位だったと思いましたが、男女合わせて928名位ですね。赤いところに%が書いてありますが、低アルブミンの人はやはり高齢になるにつれて多くなると、80代になるとかなり、70代でも10%超えています。2枚目の紙を見ていただくと。他の貧血の方も見たのですが、予想外で、直ぐに廣田先生にご連絡して、色々ご相談に乗っていただいたんですが、BMIというのがありまして、痩せに低栄養が多いというのは予想がつきます。低アルブミンの人は100人いたんですね。男が42名、女は58名。ところが100名の内、肥満している人が22名もいた。男性が10名、女性が12名になりますが、肥満しているから大丈夫だろうと思いがちなんですけど、そうじゃなくて、実際のとこ調べてみると低栄養だと。海外でもデータがあるらしくて、日本ではあまりないというご指摘があったので、今後は栄養バランスとか、色んな栄養調査を進めようということに来週あたりになるんですけども、見かけだけでは分からないと。私どものグループで、筋肉量も体組成計と一緒に測ってます。体力測定もこの人たちにやっているので、

その辺リンクすると、非常に色々な面白いことが出てくるんじゃないか、今後に向けて松川村のデータですけれどもお年寄り、中高年にこういった状況があるということが、私も知らなかったのですが、かなりあるということが分かってきましたので、安曇野市の取り組みの中で中高年のところに食をもっと入れていただいて、こういった取り組みを安曇野市が全国に先駆けて県に先駆けて進めていただければと。当然子どもからずっと大事なんです、この辺はかなりやっておられる、進んできていると思いますので、中高年をどうするか、今後の課題であると思いますので、やっていただければと思います。

(事務局) すみません。ちょっと教えていただきたいんですが、うちの場合には低アルブミン検査がないので、貧血検査はやっているのですが、特定健診の項目の中でも義務付けのある検査項目ではないものですから、その場合に例えば貧血検査で、栄養状態を補うことはできるのでしょうか。

(会長) 貧血のある人とない人で見てますけど、貧血のある人確かに多いのですが、ない人でも低アルブミンの人結構いるんですよ。だから測らないと分からない。あと、コリンエステラーゼもやったのですが、案外と異常のある人少なかった。アルブミンはすごく異常のある人多いですね。ただ3.9 g/dlでとってあるので、厚生労働省は3.5 g/dl未満ですね。その辺をみたらよりいいんじゃないかっていうのはありますので、3.5 g/dl以上の人削ればまた数が変わりますが、とりあえず出して調べていますが、かなりいるんじゃないかという風に思いますので。それからフレイルとかロコモも何も使わずに片足で立てるかどうかというのがフレイルの一つの調べ方になる。簡単に体力測定も出来るんですよ。松川村で住民に対して調査を委託してやっているんですが、色々なデータが出てきます。またそれを今度お知らせできればと思います。色々な切り口というか多方面から中高年の健康を見ていければと思いますので、市の方で検討していただければと思います。

②□その他について

(会長) その他、ア 明科中「手作り弁当の日」について事務局より説明をお願いします。

(事務局) その他、ア 明科中「手作り弁当の日」についての説明

(会長) その他、ア 明科中「手作り弁当の日」について、ご質問ご意見等ありましたら、お願いします。

(委員) お弁当の日の取り組み素晴らしいと思うんですけども、降幡校長先生も苦労されていたというか直ぐにはいかなかったと書いてありますが、トップダウンじゃないですけども、食育推進会議としても市の全学校でやるように推奨するかそういう方向でのアプローチはできないでしょうか。そもそも推進会議の委員が是か非かっていうのもあると思いますが、もし皆さん同意いただければそういった推進会議としての後押しは可能ですか。

(事務局) 今までも学校現場の方にはお話はしているんですけども、別組織ということでそんなに押し付けることはできないですね。学校現場としての現状を考えた中で、学校のトップがやるって決めていただければきっと進んでいくと思うんですけども、なかなか食育の立場からやってくださいという風には言えないものではありません。でもこうやって取り組んでいただいた学校があるので、そこから広がっていくんじゃないかなという風にも思っていますけども、これで成果が出てくればやりたいという先生方も出てくるかなという風には思います。

(委員) 強制力はないかと思いますが、ぜひ後押しをお願いします。

(会長) 私も経験してますけども、学校の現場は一律にはなかなか難しいですよ。そこの先生の裁量というか、そういうもありまして。いい結果が出るようにまた一緒にやっていただければと思います。

(事務局) やはりお弁当の日を理解される先生がいて広がるものであって、授業も上に行けば行く程、カリキュラムも厳しくなっている中でその時間を作るのが難しい。ただ学校によっては夏休みの宿題に家で何か作ってみるとか色々な工夫をされて、お弁当の日という形ではないんですけど、別の形でこれに近いことを実現させている学校はあります。

(会長) その他、イ 調理師会「味覚の授業」について事務局より説明をお願いします。

(事務局) その他、イ 調理師会「味覚の授業」についての説明

(会長) その他、イ 調理師会「味覚の授業」について、ご質問ご意見等ありましたら、お願いします。

(委員) 紹介していただきまして、ありがとうございます。感想文の方までお話していただいて。実は今日生徒さんに書いていただいた作文を持ってきましたが、体験してよかったとか、先生たちにも協力していただいて、感想文まで書いていただいて。また次年度も予定していて、今度三郷小学校でやりたいかなとは思っているんですけども、5クラスということでクラスも多いものですから。毎年毎年この授業は続けて、まだ実施していない小学校が何校かあるもんですから、やってない小学校を回れるように、また努力していきたいと思ったり、またご協力をお願いしたいと思います。やっている我々も勉強になりますし、生徒さんたちも楽しくやっていただいて開く方も楽しみにしております。

(委員) 先ほどの弁当の日と同じでトップダウンがないとダメですね。頼んだけど、いいところまでいくんだけど、ぼしゃったっていうのは何校かあるんです。校長先生が熱心だということや、意見が合わない。以前はティファールから鍋とかフライパンを寄贈されたんですけど、去年あたりから景気が悪くなって、ティファールから何も来なくなったものですから、あれはだいぶ好評でしたね。今6年目になるんですけど、最初の4年間は寄付があった。それを言うと態度が変わるんです。

(委員) 家庭科室にね、鍋を寄付させてもらって今まで4校はいつているかな。去年は堀金は出なかったんですけど、堀金は1回目についているから、それをまた使わせてもらいました。校長先生と1番は学年

の5年の担任の先生方ですよ。実施される先生たちの理解がないと。堀金の先生は、学年主任の先生にご理解があって。最初から授業ダメです。半日潰れちゃうものですから、難しいっていう風に違うところでは言われたんですけども。堀金の先生は、食育の授業と家庭科の授業とそれ以外もう1個組み合わせれば、十分調整できますからっていうことですね、ほんとに直ぐお話ができましたけども。

(委員) 堀金は前回も1回やってますからね。交通整理までしていただいて。

(委員) 校長先生、朝正門のところまで交通整理していただいて。

(委員) 学校教育課が絡んでるんじゃないんですか。

(委員) こちらからやりたいって言った。長野にいる仲間が司厨士協会の会議に出て、フランスで最初にやったやつを日本へ持ってきて東京でやって、司厨士協会が主になってやって、私のところに来て、それはいいやって長野県でやったら尚いいぞやれて集まってもらったら10人位集まった。

(委員) 今の安曇野市の学校教育課は絡んでないんですか。

(委員) 当然の間もみえました。みえてこの資料になった。食育会議で何回もその話をしましたんで。

(委員) 栄養士会の方にも来ていただいて、我々と一緒にやってもらった。

(委員) 栄養士会もああいうのをやりたいっていう意向があるんですかね。調理師会は、人に教えるのはあまり上手に話せないんで、でも若いのは上手にやりますね。

(委員) 自分でやってる仕事と尚且つ作っていることが、子どもさんたちにいかに伝えられるか、それもまた勉強にもなるし、我々もプロの料理人を集めての料理講習会で松本合庁で年に6回信濃食大学っていう料理講習を一般の方集めてやっているんですけど、そういうのも勉強にもなったりします。どうやって説明するのかっていうのは勉強になりますよね。料理人は黙って作ればいいってことだけじゃなくて、やっていることをいかに子どもさんたちにうまく伝えるか。子どもさんに興味を持っていただいてね、食とか料理に対して少しでも先ほど本郷先生が言ったみたいに高齢化になっても自分で自分の食事を作ったり、そういうことに興味を持ってもらって、やればボケ防止にもなるのか。少しは市の補助金ばかりいただかなくても自立してる人が増えてくれば、ただ外食に頼るだけじゃなくて、今言った予防みたいなのに関係するかなって感じました。

(委員) 実施校を拡大する意味で、ティファールがいなくなった分、それに代わるものとして、予算を組んでサポートとかできないんですか。

(委員) 味覚の一週間っていう、国の厚生省、司厨士協会、大使館に景気がよかったからくれただけで、あれも宣伝ですからね。

(委員) そういう目的はあるでしょうけども、結果的に僕らの子どもたちが接する場ができたっていうのはいいことだと思うので。

(委員) 日本料理が世界遺産になったものですから。旨みという言い方がよその料理には書いてなかった。日本料理は旨みっていうのを前面に出してた。五感を大事に尚且つ旨みを話すことを心がけています。細かいこと言うと生の塩を使うか、焼いた塩を使うかで料理が変わってきます。そういう話をした時に大人でも感心しますけど。ちょっとしたことで上手いのと不味いのができる。どんな仕事でもそういったことはあると思うんですけど。

(会長) 調理師会の「味覚の授業」は閉じますね。他に何かございますか。

(事務局) 先ほどの弁当の日のことですが、学校の現場の中になかなか広がらないんじゃないかっていうご意見がありました。それで、安曇野市の食育計画の中で推し進めればいいんじゃないかっていうご意見だったと思うんですが、この取り組みに関して先ほど説明がありましたが、2次食育計画を立てる中でパブリックコメントでご意見いただき、この会議でも検討させていただいて、校長会ですとか、学校給食の担当者ですとか、現場の担当者とも話し合いながら、平成27年に竹下先生をお呼びして食育講演会を実施しました。ただ実施に至るってところまでは、トップダウンとかこちらからの押しつけでやってもらうものでもないです。そういったところも考慮しています。弁当の日っていうだけではなくて、家庭科の教育ですとか、そういった中で学校現場としては取り組んでいる。この中にもいっぱい書いてあるかと思うんですけど、弁当の日っていう形ではないけど、食を学ぶ機会っていうのは、作っているっていう意見もいただいています。食育会議としては、講演会が終わって現場とも話し合いを持って、今度実施に至るにあたっては、学校の考え方っていうところもあるので、その辺をご理解いただいて、やっそこまで来たという、ほんとにゆっくりですけど、ここまで進んできているっていう風にご理解いただけるとありがたいと思います。

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に企画財政部まちづくり推進課へ提出してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。